

科 目 名
政 治 学 II Political Science II

2 年 前期 2 単位 選択

井 芹 浩 文

【科目区分】

学士課程共通の学習効果との対応：1-(1)(2), 2-(3), 3-(4)
 情報教育目標との対応：NIE活用による情報リテラシーの強化
 建築学科教育カリキュラムとの対応：

学習・教育目標	JABEE基準 1 の(1)の知識・能力	コース名	必修／選択の別	授業時間
A	A 1	—	選択	22.5時間
		建築総合コース		
		建築計画コース		
		建築構造コース		

【概 要】

「ニュースで見る政治と社会」をテーマとして、政治とは何かを考える。2010年後半は7月参院選を踏まえて与野党の攻防が展開される。政治におけるドラマを通して民主主義の現状・問題点に迫るほか、各政党の動向も分析する。

【到達度目標】

- (1) 新聞で頻繁に登場する政治の基本用語、キーワードを理解させる。これらを通じてより難しい政治学の基本概念にも触れるようにする。
- (2) 新聞のスクラップ・ブックを作ることで、情報収集の仕方など社会に出てから必須とされる情報リテラシーを得られるよう訓練する。
- (3) 就職試験で出される「時事問題」「一般常識」への実力を身につける。

【授業計画】

テ マ マ	内 容
① 参院選結果 1	参院選結果の分析：獲得議席数の全国的状況、与野党の争奪戦となる1人区の攻防結果、比例区における業界団体擁立候補の結果など
② 参院選結果 2	参院選結果の分析：得票数の推移で見た各政党の消長、選挙区と比例区の得票比較など
③ 参院選結果 3	参院選結果の分析：出口調査を通じてみる有権者の意識、特に無党派層の動向など
④ 参院選後の政党	2010年7月の参院選で民主党など野党と自民党などの野党は勢力をどう伸ばしたか（減らしたか）、それが政権の政治力学にどう影響するか
⑤ 臨時国会	先の通常国会でどのような法律が成立したかを振り返りつつ、秋の臨時国会の課題、国会の役割一般を探る
⑥ 所信表明演説	鳩山首相が目指す政治目標は何か。所信表明演説を検討することを通じて鳩山内閣が取り組もうとしている内政・外交の課題を追う
⑦ 代表質問	所信表明演説に対する与野党の代表質問を通じて、野党・自民党の追及ポイントを探り、現在の政治問題が何かを知る
⑧ 東アジア共同体	2010年秋には横浜でAPEC（アジア太平洋経済協力会議）首脳会議が開かれる。東アジア共同体構想の実態などアジアの問題を考える
⑨ 日米関係	今年は1960年に新日米安保条約に調印、批准してから50年になる。日米同盟の深化が課題。普天間飛行場の移設問題のその後
⑩ 米中間選挙	2年に1度のアメリカの中間選挙が11月行われる。選挙結果はどうなったか。これによってオバマ政権は強くなったか、弱くなったか
⑪ スクラップ作成	前期と同様、新聞を素材にして各自が選んだテーマに沿ってスクラップ・ブックを実際に作成する（図書館6階大会議室）
⑫ スクラップ・レビュー	各自が作成したスクラップ・ブックを材料にして感想文を書く。漠然と書き始めるのではなく、材料を吟味して3つのキーワードを立てることから始め、順序だった小論文の書き方を身につける
⑬ 党首討論	首相（民主党代表）と自民党総裁との党首討論の位置づけ、ディベート力を診断する
⑭ 政治とカネ	政治資金規正法に基づく政治資金収支報告からみた政治家の「財布」はどうか。鳩山首相、小沢民主党幹事長の資金問題を探る
⑮ 後期まとめ	後期講義内容を俯瞰し総括する
⑯ 定期試験	

【授業方法】

毎日の講義の冒頭に「講義レジュメ」を配る。講義レジュメ（要約）は、その日の講義内容の概略を示すとともに、その穴あき部分に講義内容を書き込むことで一層の理解を深める。
 出席票と別個に配る質問票に、その日の講義で注目した「キーワード」と「質問・意見」を書く。
 質問に対しては次の授業時間に回答することで、講義のフィードバックを行う。

【学習到達度の評価】

- 1) 学習到達度目標に掲げた政治の基本用語、重要な概念に対する理解度が深まったかどうかは質問票に書いた「キーワード」によって判定する。
- 2) 新聞のスクラップ・ブック作製・提出によって、自ら情報を収集、分類、整理する意欲と能力を評価する。
- 3) 定期試験では講義内容全体に対する理解と問題点の正確な把握を問う。

【評価方法】

- 1) 質問票に書いた「キーワード」によって講義内容への理解度を判定し、点数を与える（1回につき最高2点、計30点）
- 2) 自分で決めたテーマに沿って新聞のスクラップ・ブックを作る。提出点を与える（10点）。
- 3) 定期試験での配点は残り60点とする。
- 4) 出席が半数（8回）以上あって合格点（60点）に達しない場合は、別途、レポート（60点満点）提出によって再試験に代える。

【関連科目】

2 年：政治学Ⅰ（内容的な重複はないが、政治学Ⅱだけの履修でもよい）

【教科書・教材】

レジュメをその都度、配布する。

【参 考 書】

井芹浩文 著『憲法改正試案集』（集英社新書）
 イミダス編集部 編『日本の針路 世界の行方』（集英社）

【履修上の注意】

- ・新聞、特に政治・国際ニュースを伝える1～3面に日ごろから目を通すこと。
- ・テレビのニュース報道も時に応じて聴取すること。
- ・分からない時事用語があったら用語事典やインターネットで積極的に意味を調べること。

【オフィスアワー】

火曜日から金曜日の昼休み（12:00～1:00）に本館3階研究室にて講義内容あるいは政治に関する質問を受け付ける。授業時間外であれば、その他の時間の訪問も受け付ける。